

## 〔異常気象時の対応〕

平成25年8月30日より「特別警報」が導入されました。「特別警報」は、大規模な災害の発生が切迫していることを伝えるために創設されたものです。「特別警報」発表時の対応の原則は、ただちに命を守る行動をとることです。

## 「特別警報」が名古屋地方気象台から、「知立市」に発表された場合

- 1 登校前
  - ・ 登校しないでください。学校は休校です。
  - ・ 特別警報解除後も、学校からのメール等による連絡があるまで登校しないでください。
- 2 在校中
  - ・ 直ちに授業を中止し、気象及び通学路の状況を見て、児童の安全を確保する最善の対応（学校待機、保護者への引き渡し等）を迅速に行います。
  - ・ 学校待機とした場合、「特別警報」解除後も、安全と判断できるまで下校を見合わせます。

## ※豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難について（平成31年3月より）

警戒レベルを用いた発表のうち、「警戒レベル1, 2」が気象庁より、「警戒レベル3～4」が知立市より発表された場合

「警戒レベル3」・・・高齢者等、避難に時間を要する方に避難開始を促す情報です。

「警戒レベル4」・・・全員に避難を促す情報です。

- 1 登校前
  - ・ 自宅待機とします。
  - ・ 登校時刻や方法については、きずなメール等、学校からの連絡にご留意いただきますよう、よろしくお願ひします。
- 2 在校中
  - ・ 保護者による引き渡しを行う場合があります。
  - ・ きずなメール等、学校からの連絡にご留意いただきますよう、よろしくお願ひします。

## 〔台風等の異常気象に関する対応〕

「西三河南部に暴風警報」 → 「知立市に暴風警報」に変更

平成22年5月より、警報・注意報は、市町村ごとに発表されるようになりました。テレビやラジオなどでは「西三河南部に暴風警報」と報道されても、「知立市に暴風警報」は出ていないことがあります。気象庁HP、地上デジタルテレビのデータ放送等でご確認ください。

## 「暴風（暴風雪も同じ）警報」が名古屋地方気象台から、「知立市」に発表された場合

- 1 登校前
  - 午前6時までに解除された場合
    - ・ 平常通り授業を行います。
    - ※ただし、通学路が冠水したり、河川が増水したりする等の理由により、登校が危険なときは、自宅で待機し、その旨を学校へ電話連絡してください。学校と連絡がつかないときは、連絡がつくまで自宅待機とします。
  - 午前6時を過ぎても解除されない場合
    - ・ 登校しないでください。学校は休校です。
- 2 在校中
  - ・ 気象及び通学路の状況等を見て、児童を安全に帰宅させることができると判断した場合は下校させるための措置をとり、直ちに下校させます。
  - ・ 通学路が危険と認められる場合等、帰宅が困難と判断した場合は学校待機とし、安全と判断できるまで下校を見合わせます。
  - ・ 保護者の判断で迎えに来校された場合は、引き渡しマニュアルに従って確認の後、児童を下校させます。

### 3 お願いと確認

- ・ 集団下校となった場合、「南児童センター」「放課後子ども教室」へ通う児童や、帰宅しても保護者等が不在の児童は、学校で待機させますので、できるだけ早い時間に迎えをお願いします。
- ・ 風雨が強くして集団下校が困難な場合は、学校で待機させますので、できるだけ早い時間に児童の迎えをお願いします。その場合、必ず本校職員（担任等）に伝えてから児童を引き取ってください。
- ・ 緊急連絡につきましては、きずなメールでお知らせします。原則として電話連絡はしませんので、報道等には十分注意して迎えをお願いします。

#### 〔「暴風警報」または「特別警報」は発表されないが、大雨等の異常気象により、生徒の安全確保に困難が予想される場合に関する対応〕

- 1 登校前 : 危険と判断したら無理に登校しないで自宅待機し、その旨を学校に連絡してください。
- 2 在校中 : 学校で状況を判断し、待機または教職員の引率等で下校します。
- 3 登下校中 : 危険と思われる箇所があるときは、危険を避けて自宅に戻ります。

#### 〔南海トラフ地震を含む地震に関する対応〕

##### < 1 : 大地震（震度5弱以上）が発生したとき >

大きな地震が起きた場合の登校については、次のような行動を指示する。

##### ◇登校前 :

- ・ 余震がなくなるまでは登校しない。または、安全が確認されるまで、家で待機、広域避難場所等へ避難するなど、家庭で打ち合わせた方法に従って行動する。

##### ◇登下校の途中 :

- ・ 危険と思われる箇所があるときは、家または学校へ避難する。
- ・ その他、いろいろな事故も予想される。状況に応じ、登下校途中の「子ども 110 番の家」や民家、商店に助けを求めようとする。
- ・ 最も近い広域避難場所等へ向かうなど日頃から緊急の場合の避難方法について話し合い、約束事を決めておくようにする。

##### ◇在校中 :

- ・ 一切の教育活動を中止し、教職員の指示でグラウンドへ避難する。
- その後、地震の規模や被害状況、及び公的な今後の安全予想を踏まえ、基本的には学校待機または一斉下校、**お迎え・引き渡し**をする。地震の程度に応じて対応する。

地震	学校	児童・保護者
● <b>知立市</b> において、 震度 <b>5弱以上</b> の地震が <b>突発的に</b> 発生したとき	【登校前】 授業中止	●家庭で安全確保
	【授業中】 授業中止 ※ <b>きずなメールが送信できる状況なら、</b> メールで保護者に連絡する。	●直ちに下校 ※保護者が事前に 提出した下校方法に従 って下校

##### < 2 : 震度4までの地震、または、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合の対応 >

知立市に震度4までの地震が発生したり、南海トラフの想定震源域等で大きな地震が起こり、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたりした場合、次のような行動をとる。

#### 【確認】南海トラフ地震臨時情報は、**地震予知情報ではありません。**

南海トラフの想定震源域等で、大きな地震（M6.8以上）が起こっている場合に、この情報が出ます。

まず（調査中）が発表されます。

→続いて（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）、（調査終了）のいずれかが発表されます。

地震	学校	児童・保護者
●知立市において、 <u>震度1～3の地震</u> が発生したとき	<u>通常授業</u>	●地震に対する備えを確認
●知立市において、 <u>震度4の地震</u> が発生したとき	<u>原則、通常授業</u> ※状況によって、授業を中止する場合があります。 ※原則、きずなメールで連絡します。	・家族等の連絡手段の確認 ・避難場所や移動経路の確認
●南海トラフ地震臨時情報 (調査中) が 発表されたとき	<u>原則、通常授業</u> ・校外活動は出発一時見合わせ、もしくは速やかな帰校準備をする。	・危険な場所 (ブロック塀やガラスの多いところ)の確認
●南海トラフ地震臨時情報 ( <u>巨大地震警戒</u> ) が発表されたとき	<u>原則、通常授業</u> ※授業終了後は速やかに帰宅する。 ※校外活動は延期(中止)、もしくは速やかな帰校。 ※状況によっては、臨時休校及び授業を中止する場合があります。 ※原則、きずなメールで連絡します。	・非常持ち出し品、非常食の確認 ・家具の固定 等
●南海トラフ地震臨時情報 ( <u>巨大地震注意</u> ) が発表されたとき	<u>通常どおりの教育活動</u> ・校外活動は出発一時見合わせ、もしくは速やかな帰校準備をする。	
●南海トラフ地震臨時情報 ( <u>調査終了</u> ) が発表されたとき	<u>通常どおりの教育活動</u>	

### 〔弾道ミサイルに関する対応〕

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、全国瞬時警報システム(Jアラート)を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、知立市防災ラジオ、携帯電話にエリアメール・緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

なお、登校前、在校中、登下校中に、弾道ミサイル飛来の可能性を知らせる緊急情報が流れた場合、国より示された内容を参考にして指導します。また、「内閣官房 国民保護ポータルサイト」も参考にしてください。よろしくお願いいたします。

#### Jアラートが発動された場合

##### 1 登校前

- ・ 自宅で待機し、政府発表による安全の確認がとれた後、登校してください。
- ・ 登校時刻や方法については、きずなメール等、学校からの連絡にご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

##### 2 在校中

- ・ 安全を確認できるまでは、校舎内で待機します。
- ・ 安全を確認した後は、通常通りに日課を進めます。

### 3 登下校中

- できる限り頑丈な建物や地下に避難し、安全を確認できるまで待機してください。
  - 鉄筋コンクリートでできた建物がよいです。
  - 建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。
- 避難先で安全を確認した後は、登校途中の場合は速やかに登校を、下校途中の場合は下校をしてください。

## ○総務省消防庁からの「内閣官房 国民保護ポータルサイト」



## 弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

### ①速やかな避難行動

### ②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト  
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。  
[http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo\\_manual.html](http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html)

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸  
ホームページ  
[www.kantei.go.jp/](http://www.kantei.go.jp/)



Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
@Kantei\_Saigai



Jアラート (例)直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に  
いる場合

できる限り頑丈な建物や  
地下に避難する。

地下：地下街や地下駅舎などの地下施設

建物が  
ない場合

物陰に身を隠すか、  
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に  
いる場合

窓から離れるか、  
窓のない部屋に移動する。

近くに  
ミサイル  
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。